

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330412090	算数科教育法 Teaching Method of Arithmetic	高 鉄 利行	✓		2	選択	1後期

科目の概要

D3に記載されている専門的知識・技能を身に付けることについて、算数を学習していくうえでの教育現場での子どもの多様さや学習を成立させる奥深さを学習指導要領や教科書の内容をもとに理解する。D1やD5に示されているように、人間力をもって子どもの立場に立って考察する力を身に付ける。数学的な見方・考え方に目を向け具体性のある数学的な活動を組み入れながら、算数科授業の実践的な指導理論をもとに模擬授業を通して身に付けていく。

学修内容	到達目標
① 学習指導要領に示された算数科教育の目標と内容、及び全体の構造を理解する。 ② 基礎的な学修指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を知る。 ③ 数学的な見方・考え方を重視し、数学的活動の扱い方と子どもに合った指導方法を考察する。 ④ 情報機器及び教材の効果的な活用方法を理解し、学習指導案を作成し、授業展開の方法を学び、模擬授業を創造する。 ⑤ 子どもの多様な考えやつまづきについて、その内容と具体的な指導方法を考察する。	① 学習指導要領における目標及び主な内容並びに全体構造を理解できる。 ② 基礎的な学修理論を踏まえて、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う力を身に付けることができる。 ③ 具体的場面に応じた数学的な見方・考え方を理解し、子どもの実態に応じた取り入れ方を考察することができる。 ④ 情報機器及び教材を的確に活用し、模擬授業の実施と振り返りを通して、具体的な授業設計と授業改善の視点を身に付けることができる。 ⑤ 子どもの多様な考えやつまづきについて、その内容と具体的な指導方法を考察することができる。 ⑥ 算数の学びを構成し実践することを通して、授業の在り方を他教科の学ばせ方と関連付けながら身に付ける。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	算数の内容に関して、指示がなくても前後の内容や単元のつながりを意識して、教科書に積極的に働きかけることができる。
	働きかけ力	
	実行力	模擬授業の内容を大変さを感じながら、指導案や模擬授業をペアやグループワークにて他者と協力して最後までやり抜くことができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもがどこでつまづくのかを考えてグループワークにて議論し合い、他者の発言から新たな課題や方法を見つけ出すことができる。
	計画力	
	創造力	子どもの実態に合わせた授業展開を考え出し、教材を有効に使った学ばせ方をグループワークなどを通して創造することができる。
チームで働く力	発信力	調べたり、話し合ったりしたことを相手に伝えるように適切な表現で発表することができる。
	傾聴力	講義の内容や他者の意見をよく聴き、自分の見解を持つことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、私語など授業に支障をきたすことのない良識をもった言動で参観することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

新興出版啓林館 算数科教科書、1年、3年上下

他科目との関連、資格との関連

「算数科教育法」では、その前に履修した「算数科研究」としての教科の内容を十分生かし、一斉授業を想定し子どもへのよりよい学ばせ方をつかむ実践的な科目である。その後に履修する「小学算数」は、算数としての総合的に学ぶ科目である。資格：小学校教諭一種

学修上の助言	受講生とのルール
・小中学校や高等学校にて学んできた算数数学の学び方を振り返り、学修した内容と比較しながら教師としての在り方を深めていけることを期待しています。 ・教師の立場に立つことの大切さや大変さが授業が進むにつれて理解できるようになり、子どもを理解するよさや奥深さから、人間的に成長していけると感じています。	・授業には積極的に取り組み、教師視点で考え、算数のよさを感じられるよう主体的に参観してください。 ・子ども理解につなげられるように授業づくりに向けて常に学修してください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	40	①	✓	⑥	(獲得) 授業にて学んだ授業づくりの基本的な知識や技能を十分習得している。(50%) (活用) 学んだ内容をもとに、授業のねらいについて活用できる。(10%) (解決) 子どもの反応が予想してその対応について解決方法を考えることができる。授業のあり方を実践力につながるようにまとめることができる。(40%)
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト	0	①		⑥	
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	25	①	✓	⑥	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	25	①		⑥	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①		⑥	(主体性) 毎回のまとめや感想を、学修に生かすことができる。 (課題発見力) グループの話し合いで新たな課題を見つけることができる。 (創造力) グループでの取り組みで、自分なりのアイデアを提案できる。 (実行力) メンバーできちんと自分の役割を果たすことができる。 (発信力) 学習で必要なときに意見を述べたり、発表したりできる。 (規律性) 学習のルールを守ることができる。 (傾聴力) 友だちの意見に同調したり、疑義を表明したりできる。	
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
			総合評価割合		100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
- 算数科教育法の授業に積極的に参加し、算数科の指導内容、授業方法、授業技術を的確に捉えたまとめが書ける。 - 算数指導に関して、子どもの思考に寄り添った指導につながる自分なりの感想が書ける。 - 創造的な視点のもとに学習指導案が書け、授業技術を意識した模擬授業の実施、授業評価ができる。	- 授業の中で他者との議論に参加し、授業内容のまとめを分かりやすく書くことができる。 - 学んだ形式に沿って学習指導案が書け、授業技術を意識した模擬授業の実施、授業評価ができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	・ガイダンス（本授業の位置づけなど） ・受講のルールを学ぶ ・学習指導要領の目標や位置づけ、内容について知る。 ・授業づくりの具体的な場面について考察する	講義 演習 レポート作成	授業の内容を理解している。次回からの課題や準備を把握することができる。	＜予習＞よりよい授業づくりについて具体例をもとに考えてくる。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 傾聴力 規律性
2	・学習指導要領の目標や位置づけ、内容、4つの領域のつながりについて知る。 ・教科書の構成や内容について知る。 ・よりよい授業づくりの条件として、「数学的な見方・考え方」「数学的活動」について考察する。	講義 演習 ペアワーク グループワーク	・学習指導要領の目標や位置づけ、内容、4つの領域、教科書の構成や内容についてつなげて理解できる。	＜予習＞算数の4つの領域について区別できるように考えてくる。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	・子どものつまづきの場面①をもとに、その原因と対応について考察する。 ・授業づくりの基本原則①として、課題設定の場についてあり方を考察する。	講義 演習 ペアワーク グループワーク	授業づくりの基本原則①として、さまざまな課題設定の場のあり方やその考え方について理解する。	＜予習＞授業づくりの基本原則②として、自力解決の場について、そのあり方について考察してくる。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 課題発見力 創造力 規律性
4	・子どものつまづきの場面②をもとに、その原因と対応について考察する。 ・授業づくりの基本原則①として、自力解決の場についてあり方を考察する。 ・指導案の基本的な書き方について知る。	講義 演習 ペアワーク グループワーク	授業づくりの基本原則②である自力解決のさまざまな場のあり方について理解できる。指導案の基本的な内容を理解できる。	＜予習＞授業づくりの基本原則②として、自力解決の場について、そのあり方について考察してくる。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
5	・子どものつまづきの場面③をもとに、その原因と対応について考察する。 ・授業づくりの基本原則③として、全体共有の場①についてあり方を考察する。 ・模擬授業の場面について、グループで相談して決める。	講義 演習 ペアワーク グループワーク	授業づくりの基本原則③全体共有のさまざまな場のあり方や深い学びについて理解できる。	＜予習＞グループで決めた模擬授業の場面について、その進め方について考察してくる。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 課題発見力
6	・子どものつまづきの場面④をもとに、その原因と対応について考察する。 ・具体的な授業映像を見て、よりよい授業の条件について考察する。 ・授業づくりの基本原則④として、全体共有の場②についてあり方を考察する。	講義 演習 ペアワーク グループワーク	授業づくりの基本原則④である全体共有のさまざまな場のあり方や深い学びについて理解できる。	＜予習＞授業づくりの基本原則④として、全体共有と深い学びを関連付けて、模擬授業の場面について考察してくる。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 課題発見力 計画力
7	・子どものつまづきの場面⑤をもとに、その原因と対応について考察する。 ・授業づくりの基本原則⑤として、確かめ・振り返り・学習評価の場についてあり方を考察する。	講義 演習 ペアワーク グループワーク	授業づくりの基本原則⑤として、確かめ・振り返り・学習評価の場についてあり方を理解できる。	＜予習＞授業づくりの基本原則①～⑤について、模擬授業の場面について関連付けて考察してくる。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 課題発見力 ストレスコントロール力
8	・具体的な授業映像を見て、よりよい授業の条件について考察する。 ・模擬授業の指導案や授業づくりについてグループで考察する。	グループワーク 発表 ディスカッション	模擬授業の指導案や授業づくりについてグループで考察して課題を見つけ解決する糸口を見つけることができる。	＜予習＞模擬授業の指導案や授業づくりについて、課題を解決するためグループで考察・解決できるように進めてくる。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	・具体的な授業映像を見て、よりよい授業の条件について考察する。 ・模擬授業の指導案や授業づくりについてグループで考察する。	グループワーク 発表 ディスカッション DVD視聴	模擬授業の指導案や授業づくりについてグループで考察して、完成に近づけるように協力することができる。	＜予習＞模擬授業で行う内容を予習し、模擬授業で自分なりの方法や留意点をつかんでくる。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 ストレスコントロール力
11	・模擬授業①を参観して、よりよい授業のあり方について考察する。 ・子どもの立場に立った見方を通して、教師としてのあり方について考察する。	演習 発表 ディスカッション	模擬授業や協議会を参観して、よりよい授業や教師としてのあり方について考察し、自分なりの考えをもつ。	＜予習＞模擬授業で行う内容を予習し、模擬授業での自分なりの方法や留意点をつかんでくる。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
12	・模擬授業②を参観して、よりよい授業のあり方について考察する。 ・子どもの立場に立った見方を通して、教師としてのあり方について考察する。	演習 発表 ディスカッション	模擬授業や協議会を参観して、よりよい授業や教師としてのあり方について考察し、自分なりの考えをもつ。	＜予習＞模擬授業で行う内容を予習し、模擬授業での自分なりの方法や留意点をつかんでくる。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
13	・模擬授業③を参観して、よりよい授業のあり方について考察する。 ・子どもの立場に立った見方を通して、教師としてのあり方について考察する。	演習 発表 ディスカッション	模擬授業や協議会を参観して、よりよい授業や教師としてのあり方について考察し、自分なりの考えをもつ。	＜予習＞模擬授業で行う内容を予習し、模擬授業での自分なりの方法や留意点をつかんでくる。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
14	・模擬授業④を参観して、よりよい授業のあり方について考察する。 ・子どもの立場に立った見方を通して、教師としてのあり方について考察する。	演習 発表 ディスカッション フィードバック	模擬授業や協議会を参観して、よりよい授業や教師としてのあり方について考察し、自分なりの考えをもつ。	＜予習＞模擬授業で行う内容を予習し、模擬授業での自分なりの方法や留意点をつかんでくる。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
15	・模擬授業⑤を参観して、よりよい授業のあり方について考察する。 ・子どもの立場に立った見方を通して、教師としてのあり方について考察する。	演習 発表 ディスカッション	模擬授業や協議会を参観して、よりよい授業や教師としてのあり方について考察し、自分なりの考えをもつ。	＜予習＞模擬授業で行う内容を予習し、模擬授業での自分なりの方法や留意点をつかんでくる。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 課題発見力 創造力 柔軟性 状況把握力
10	・算数の授業づくりについて、模擬授業全体を振り返り、よかった点、改善点について考察する。 ・今後算数の授業づくりに向けて何を大切にすべきかについて、今までの学修を生かして考えをまとめる。	オンデマンド google classroomによる課題の提出、質問の受付	算数の授業づくりのまとめを学習したことを踏まえて、自分の視点から重要な点について実感を伴ったまとめを書くことができる。	＜予習＞テストに向けて、基本的な原理などの内容や教科書の模擬授業以外の場面にも対応できるように学び直しをする。 ＜復習＞授業の内容を体系的に今までの週の内容と関連して振り返ってくる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力